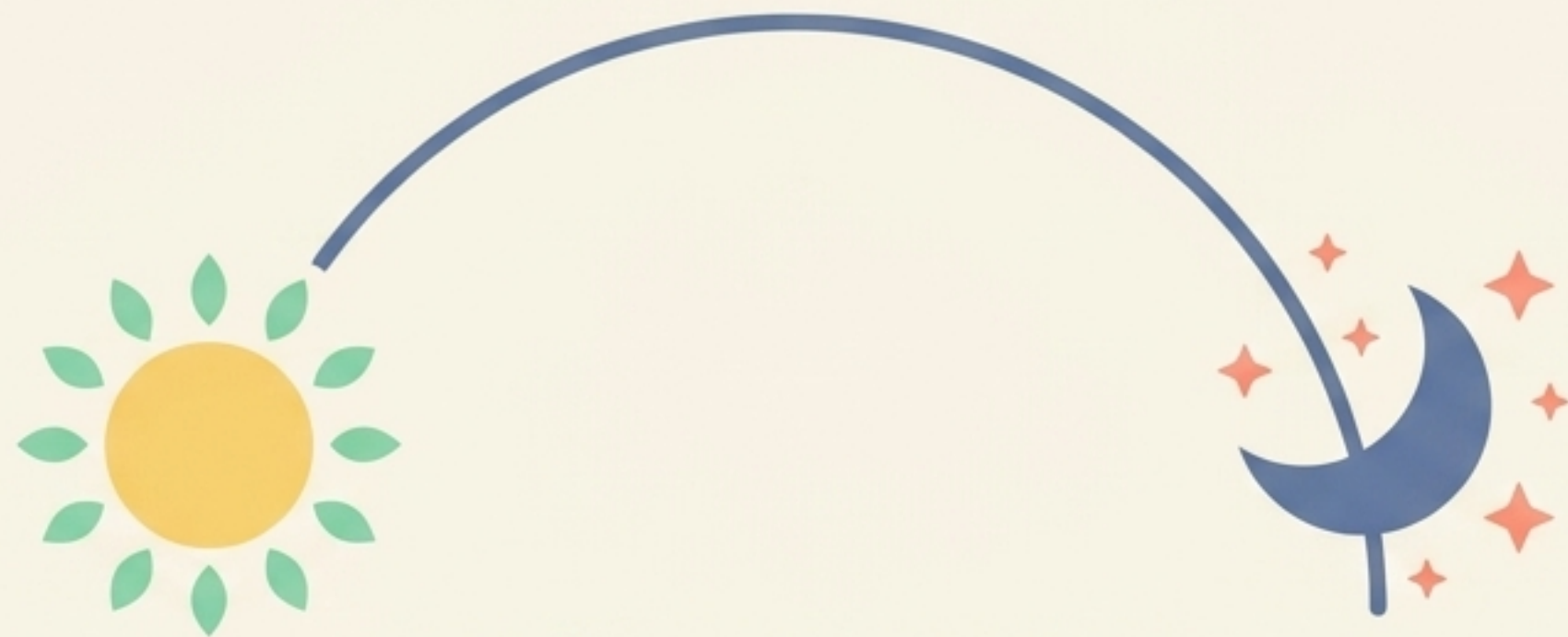




データから読み解く、 室根中学校の『今』と『これから』

令和7-8年度 まなびフェスト 分析レポート

生徒の成長を支える2つの時間



輝く強み / 盤石な学校・朝



93%

学校での安心感
(安全に生活できている)



90%超

基本的な生活習慣
(朝食・歯磨きの極めて高い定着率)



100% → 88%

授業のわかりやすさ
(教師の工夫と生徒の理解)



夜の家庭における新たな課題



約47%

スマホ・ゲームのルール
(平日60分を守る生徒は半数以下)



睡眠時間の固定

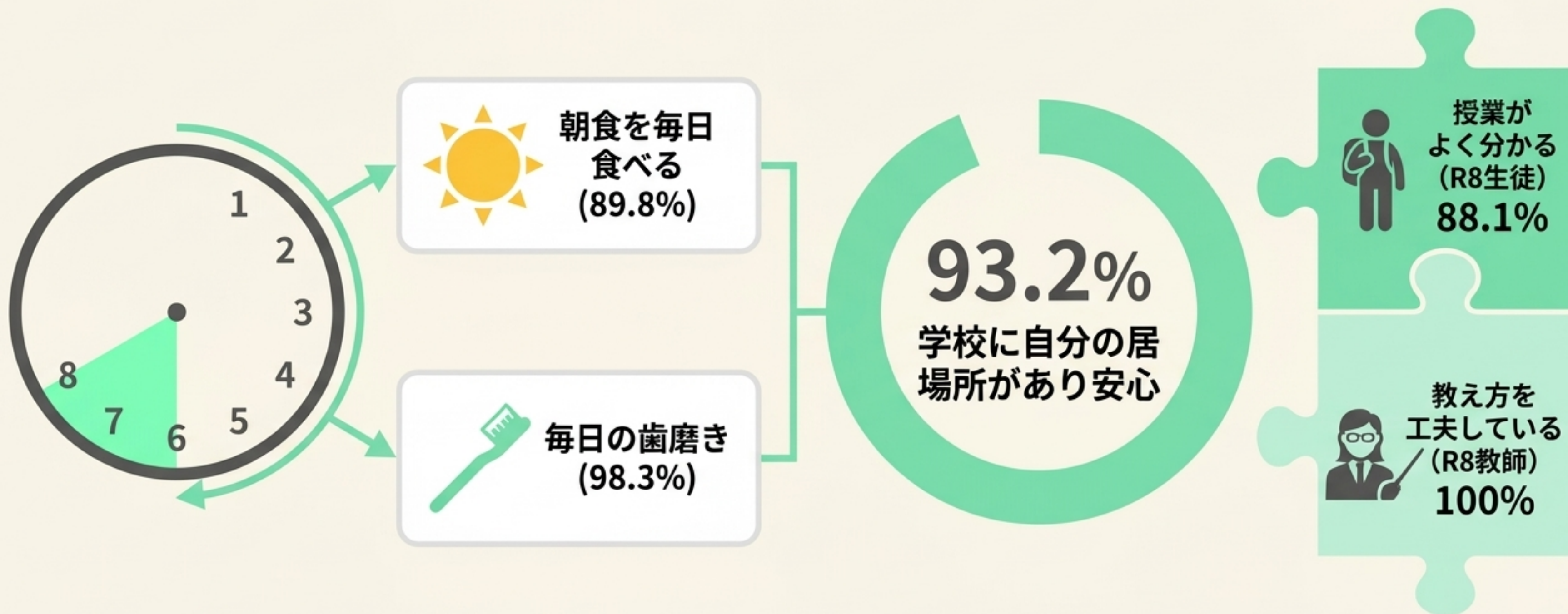
(学年が上がるにつれ就寝時刻が乱れる)



約54%

将来についての対話
(家庭内での将来の話が伸び悩み)

先生と生徒が共に創る、極めて高い「学校の安心」



教師陣の100%の工夫が、極めて高い心理的安全性と授業理解度を生み出す盤石な基礎となっています。
朝の習慣は完璧に定着しています。

デジタル時代の子育て：親子の「認識ギャップ」という共通課題

保護者の認識

89.8%

「我が子の利用状況は把握できている」

生徒の実態

47.5%

「平日60分ルールを守っている」

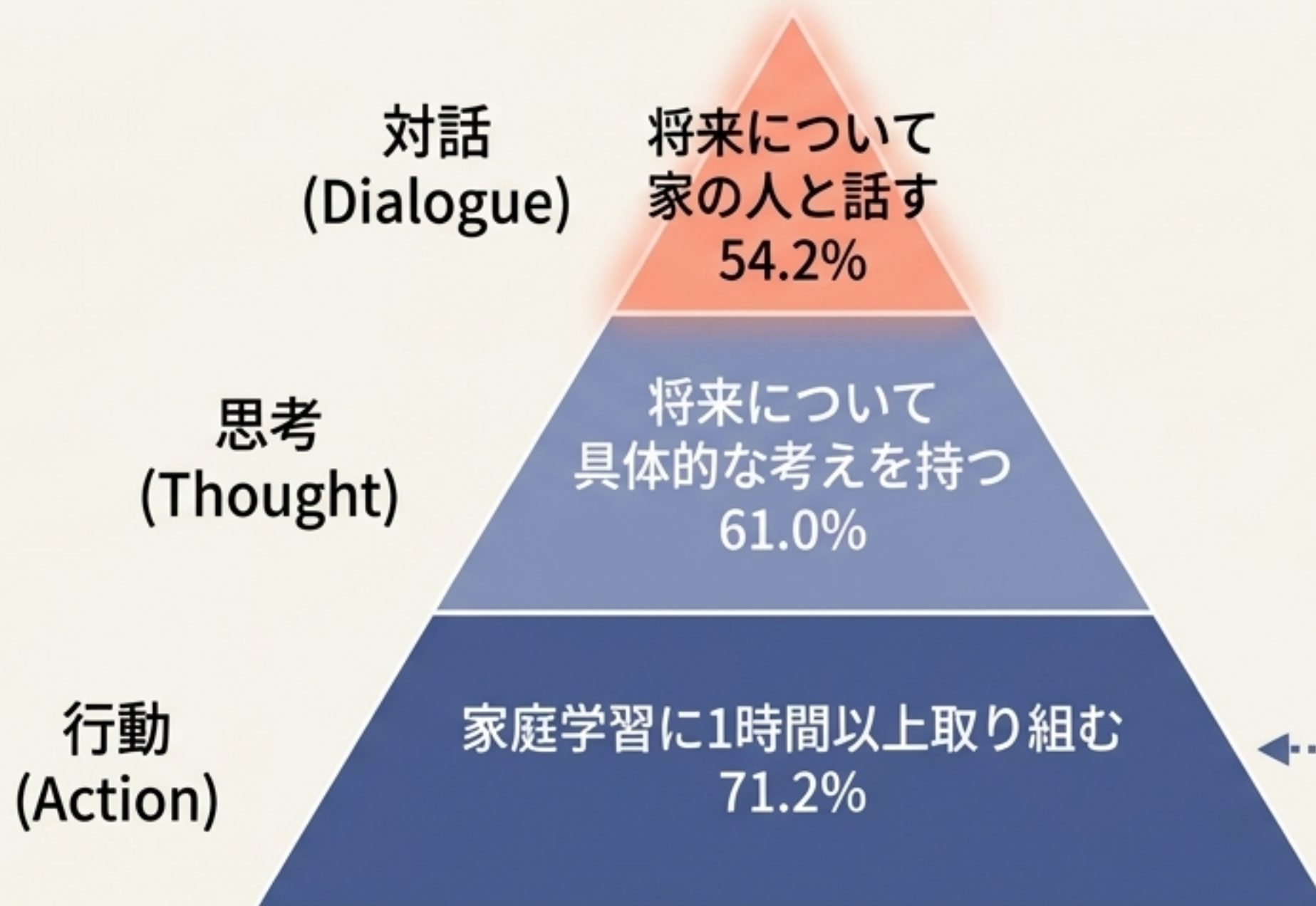


いつも決まった時刻に寝ている
(全体：71.2%)



大人の思いとは裏腹に、スマホのコントロールは難しく、学年が上がるにつれ睡眠時間への影響が見られます。質の高い睡眠の確保は、現代の共通課題です。

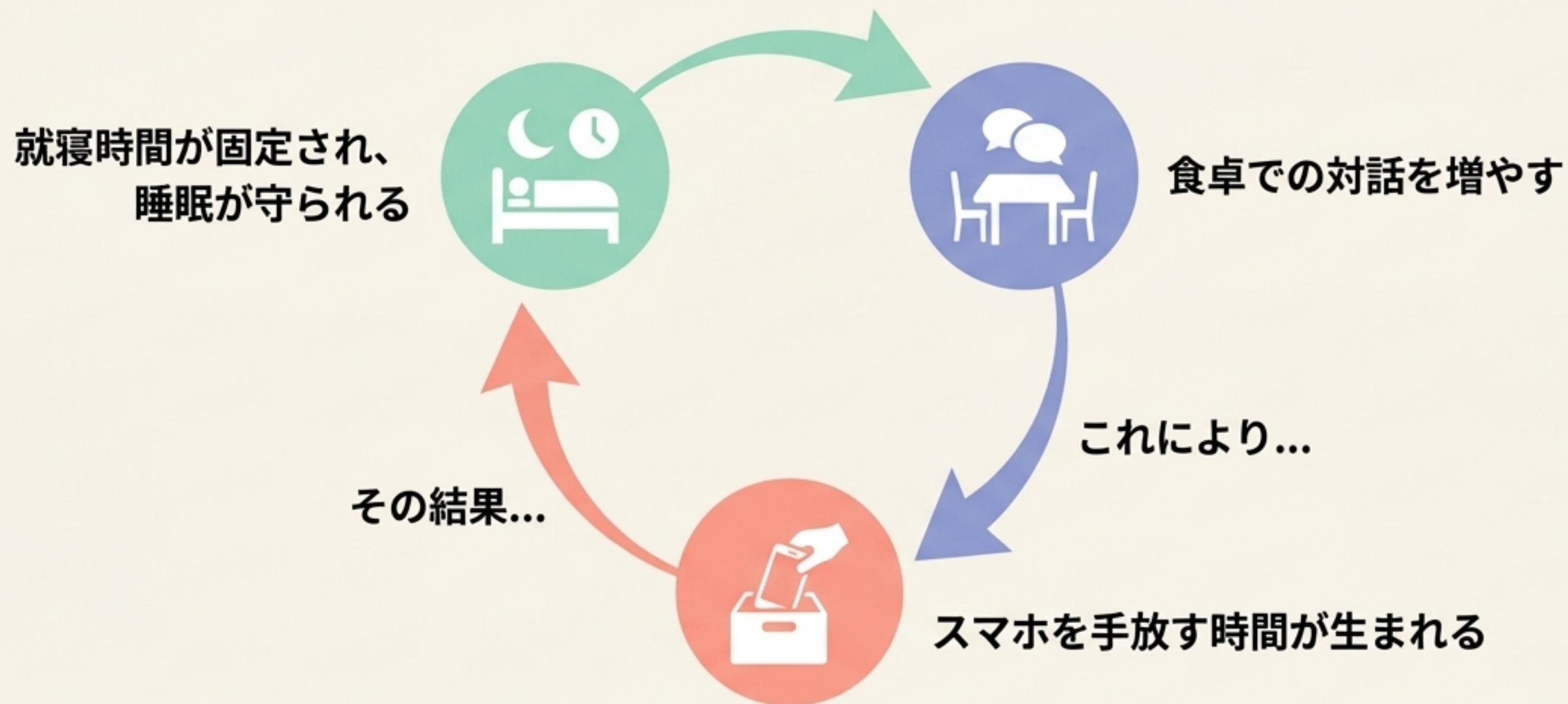
さらなる成長への「最後の鍵」は、ご家庭での『未来の会話』



教師からの指導：
将来について相談・助言
をしている (80.0%)

先生からの助言や、生徒自身の学習習慣は育っています。
これらを確かな「自立」へ繋げるためには、最も身近なご家族との対話が大きな力になります。

全ては繋がっている。「家族の対話」から始まる好循環



これらはバラバラの課題ではありません。
家族のコミュニケーションを起点とすることで、すべての生活リズムが整い始めます。

学校・家庭・地域で共に歩むための『3つの共有目標』



目標1：デジタル・ルールの再構築

親子で現実的なスマホ・ゲームの時間（平日60分）とルールを再合意する。



目標2：就寝時刻の完全固定

完璧な朝の習慣を支えるため、特に3年生の夜の生活リズムを見直し、質の高い睡眠を確保する。



目標3：『未来』を語り合う食卓

手厚いキャリア教育を家庭に持ち帰り、日常の中で『将来夢や職業』について対話する機会を意図的に創出する。

学校・家庭・地域の三位一体で、ともに歩む室根中へ。